

商工文教委員会会議記録

商工文教委員長 熊谷 泉

1 日時

平成 23 年 9 月 22 日（木曜日）

午前 10 時 2 分開会、午前 10 時 44 分散会（うち休憩 午前 10 時 35 分～午前 10 時 44 分）

2 場所

第 3 委員会室

3 出席委員

熊谷泉委員長、高橋但馬副委員長、渡辺幸貫委員、佐々木博委員、軽石義則委員、福井せいじ委員、工藤勝博委員、小西和子委員、斉藤信委員、小泉光男委員

4 欠席委員

なし

5 事務局職員

菅原担当書記、熊原担当書記、木村併任書記、村上併任書記

6 説明のために出席した者

なし

7 一般傍聴者

なし

8 会議に付した事件

- (1) 委員席の決定について
- (2) 委員長の互選について
- (3) 副委員長の互選について
- (4) その他
閉会中の継続調査について

9 議事の内容

○菅原担当書記 おはようございます。私は、商工文教委員会担当書記の菅原であります。よろしくお願いたします。

ただいまから仮委員席を定めたいと思います。

委員席の順序は、委員長席の左側の委員長席に近いこちら側を 1 番とし、委員長席の右側の委員長席に近い席を 10 番とするようにいたしたいと思います。

委員席を定める方法といたしましては、現在着席のままとする方法、抽せんによる方法などがございますが、いかがいたしましょうか。

〔「このまま」と呼ぶ者あり〕

○菅原担当書記 ただいま着席のとおりとの御発言がございましたので、それではそのとおりといたします。

〔担当書記及び副担当書記が委員席に氏名標を配置〕

常任委員選任後、最初の委員会でありますので、委員長が互選されるまでの間、委員会条例第7条第2項の規定により、年長委員が委員長の職務を行うことになっております。

出席委員中、渡辺幸貫委員が年長の委員でありますので、御紹介申し上げます。渡辺幸貫委員、委員長席に御着席をお願いいたします。

〔渡辺幸貫年長委員 委員長席に着席〕

○渡辺幸貫委員 ただいま紹介されました渡辺幸貫であります。何とぞどうぞよろしくお願い申し上げます。

委員会を開きます前に当商工文教委員会の担当書記を紹介いたしたいと思います。

菅原担当書記、熊原担当書記、木村併任書記、村上併任書記。

それでは、ただいまから本日の会議を開きます。

委員各位の委員席は、ただいま御着席のとおり決定したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺幸貫委員 異議ないようですので、さよう決定いたします。

これより委員長の互選を行います。

委員会条例第7条第2項の規定により、委員長の互選の職務を行います。

お諮りいたします。委員長の互選は指名推選と投票のいずれにより行いますか。

〔「投票」と呼ぶ者あり〕

○渡辺幸貫委員 それでは、投票を希望する方がありますので、委員長互選は投票により行います。

委員会室の閉鎖を命じます。

〔委員会室閉鎖〕

○渡辺幸貫委員 ただいまの出席委員数は10人です。

お諮りします。立会人に高橋但馬委員、熊谷泉委員を指名したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺幸貫委員 御異議なしと認めます。よって、立会人に高橋但馬委員、熊谷泉委員を指名いたします。

投票用紙を配布いたします。

〔投票用紙配布〕

○渡辺幸貫委員 投票用紙の配布漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 渡辺幸貫委員 配布漏れなしと認めます。
投票箱を改めます。
〔投票箱点検〕
- 渡辺幸貫委員 異状なしと認めてよろしいですか。
〔「はい」と呼ぶ者あり〕
- 渡辺幸貫委員 念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、順次投票願います。それでは、名前は申し上げませんので、順次。
〔各委員投票〕
- 渡辺幸貫委員 投票漏れはありませんね。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕
- 渡辺幸貫委員 投票漏れなしと認めます。投票を終了いたしました。
開票を行います。高橋委員、熊谷委員、立ち会いを願います。
〔開票〕
- 渡辺幸貫委員 選挙の結果を報告いたします。
投票総数 10 票、有効投票 9 票、無効投票 1 票。
有効投票中、熊谷泉君 6 票、工藤勝博君 3 票、以上のおおりであります。
よって、熊谷泉君が商工文教委員長に当選されました。
委員会室の閉鎖を解きます。
〔委員会室開鎖〕
- 渡辺幸貫委員 それでは、熊谷泉君が商工文教委員長に当選されました。
ただいま当選されました熊谷泉君が委員会室におられますので、本席から当選の告知をいたします。
熊谷泉委員長、委員長席にお着きください。
〔熊谷泉商工文教委員長 委員長席に着席〕
- 熊谷泉委員長 ただいま皆様方の御推挙により商工文教委員長になりました熊谷泉でございます。
皆様方の御協力によりまして、委員長の職責を果たしたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願いいたします。
引き続き副委員長の互選を行いたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
- 熊谷泉委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。
これより副委員長の互選を行います。
お諮りいたします。副委員長の互選は、指名推選と投票のいずれにより行いますか。
〔「投票」と呼ぶ者あり〕
- 熊谷泉委員長 ただいま投票との御意見がありましたので、副委員長互選は投票により行います。

委員会室の閉鎖を命じます。

〔委員会室閉鎖〕

○熊谷泉委員長 ただいまの出席委員数は10人であります。

お諮りをいたします。立会人に軽石義則委員、福井せいじ委員を指名いたしたいと思いません。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○熊谷泉委員長 御異議なしと認めます。よって、立会人に軽石義則委員、福井せいじ委員を指名いたします。

投票用紙を配布いたします。

〔投票用紙配布〕

○熊谷泉委員長 投票用紙の配布漏れはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○熊谷泉委員長 配布漏れなしと認めます。

それでは、投票箱を改めます。

〔投票箱点検〕

○熊谷泉委員長 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、順次投票を願います。

〔各委員投票〕

○熊谷泉委員長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○熊谷泉委員長 投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。

開票を行います。軽石委員、福井委員、立ち会いをお願いいたします。

〔開票〕

○熊谷泉委員長 選挙の結果を報告いたします。

投票総数10票、有効投票9票、無効投票1票。

有効投票中、高橋但馬君6票、小西和子さん3票、以上のおりであります。

よって、高橋但馬君が商工文教副委員長に当選されました。

委員会室の閉鎖を解きます。

〔委員会室開鎖〕

○熊谷泉委員長 ただいま当選されました高橋但馬君が委員会室におられますので、本席から当選の告知をいたします。

高橋但馬副委員長、ごあいさつをお願いいたします。

○高橋但馬副委員長 熊谷委員長をしっかりと補佐し、円滑、公平な委員会運営を目指し頑張りたいと思います。委員各位の御協力をよろしくお願い申し上げます。

○熊谷泉委員長 本日は、議員改選後の最初の委員会であります。

執行部の方々を御紹介いたします。

初めに、齋藤淳夫商工労働観光部長を御紹介いたします。

○齋藤商工労働観光部長 商工労働観光部、齋藤と申します。産業振興と雇用、観光を担当してございます。

3月11日の発災以来、半年たちました。仮設住宅にほとんどの方々が移られ、これからは生活の再生、なりわいの再生、特に産業の振興と雇用の確保、非常に大きなテーマを今やらなければならない状況にあります。私どもも全力を尽くしてまいりたいと思います。

県議会議員、それから執行部、これは県政の両輪でございます。ともに力を携えまして、一緒になって岩手県の再生、復興に取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしく御指導、御鞭撻をお願いいたします。

○熊谷泉委員長 この際、齋藤商工労働観光部長から商工労働観光部の方々を御紹介願います。

○齋藤商工労働観光部長 それでは、私の隣から順を追って御紹介申し上げます。

高橋信副部長兼商工企画室長、阿部信弘雇用対策・労働室長、飛鳥川和彦商工企画室企画課長、松川章経営支援課総括課長、佐々木淳科学・ものづくり振興課総括課長、福澤淳一産業経済交流課総括課長、戸舘弘幸観光課総括課長、保和衛企業立地推進課総括課長、津軽石昭彦雇用対策・労働室特命参事兼雇用対策課長、猪久保健一雇用対策・労働室労働課長。

以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○熊谷泉委員長 御苦労様でした。

次に、菅野洋樹教育長を御紹介いたします。

○菅野教育長 菅野でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○熊谷泉委員長 この際、菅野教育長から教育委員会の方々を御紹介願います。

○菅野教育長 では、お許しをいただいて、教育委員会の職員を御紹介申し上げます。

教育次長兼教育企画室長、高橋嘉行。教育次長兼学校教育室長、佐々木修一。参事兼教職員課総括課長、佐藤新。教育企画室企画課長、石川義晃。教育企画室予算財務課長、泉裕之。教育企画室学校施設課長、小倉茂。学校教育室学校企画課長、高橋勉。学校教育室義務教育課長、多田英史。学校教育室高校教育課長、高橋廣至。学校教育室特別支援教育担当課長、佐々木政義。学校教育室生徒指導担当課長、田村忠。学校教育室高校改革課長、上田幹也。学校教育室産業教育担当課長、阿部徹。生涯学習文化課総括課長、錦泰司。生涯学習文化課文化財・世界遺産課長、中村英俊。スポーツ健康課総括課長、平藤淳。教職員課小中学校人事課長、漆原一三。教職員課県立学校人事課長、中山敏。

以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○熊谷泉委員長 どうも御苦労様でした。

次に、小川明彦労働委員会事務局長を御紹介いたします。

○小川労働委員会事務局長 小川でございます。よろしくをお願いいたします。

○熊谷泉委員長 この際、小川労働委員会事務局長から労働委員会事務局の方々を御紹介

願います。

○小川労働委員会事務局長 審査調整課総括課長、吉田和明でございます。よろしくお願いいたします。

○熊谷泉委員長 御苦労様でした。

次に、小原敏文総務部副部長兼総務室長を御紹介いたします。

○小原総務部副部長兼総務室長 小原でございます。よろしくお願いいたします。

○熊谷泉委員長 この際、小原総務部副部長兼総務室長から総務部の方々を御紹介願います。

○小原総務部副部長兼総務室長 清水一夫総務室管理課長でございます。紺野由夫法務学事課総括課長でございます。鈴木敦法務学事課私学・情報公開課長でございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○熊谷泉委員長 御苦労様でした。以上で執行部職員の紹介を終わります。

次に、当委員会の閉会中の継続調査についてお諮りいたします。

当委員会の閉会中の継続調査については、お手元に配布してあります案のとおり実施することとし、議長に対し閉会中の継続調査の申し出を行うこととしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

○斉藤信委員 これはどういうことなのでしょう。今までは、具体的な調査案件というのを決めてやっているのですけれども、これは4年間これでということですか。それとも、これはどういう意味ですか。

それと、閉会中の商工文教委員会の日程がわかれば示してください。

○熊谷泉委員長 今回は、臨時議会の改選期の委員会ではありますが、従来どおりの継続調査は4年にわたって行うことといたします。

〔斉藤信委員「意味わからない」と呼ぶ〕

○熊谷泉委員長 ただいまお諮りしている閉会中の継続調査については、県内・東北ブロック調査、全国調査等について、従前から改選直後に開催される第1回臨時議会において閉会中の継続調査の議決を得ておりますことから、今回も委員会です承を得た上で、本会議で議決を得ようとするものであります。

なお、係る調査の詳細については、追って調査計画をお示しした上でお諮りする予定としておりますので、御了承を願います。

○斉藤信委員 9月定例議会が10月5日に招集されるわけですよね。それまでに閉会中の委員会というのはないでしょう、あるのですか。

○熊谷泉委員長 ありません。

○斉藤信委員 なければ、継続調査というのは事実上ないわけではないですか。9月定例会で具体的に決めても何も支障がないのではないのでしょうか。

○熊谷泉委員長 休憩いたします。

〔休憩〕

〔再開〕

○熊谷泉委員長 再開いたします。

それでは、閉会中の継続調査の申し出を行うことと、そういうふうに決めたいと思います。さよう決定いたしましたので、詳細については当職に御一任を願います。

以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。本日はこれをもって散会いたします。